

藤 木 妙 子 様

公開質問状「道の駅整備事業の再検証」について回答させていただきます。

国道6号牛久沼沿いを整備予定地とする本市の道の駅整備は、平成27年に基本構想を策定し、国と共同で事業を進めてきたところであります。

しかし、道の駅整備の事前工事である護岸改修工事で想定していた以上の軟弱地盤などにより、平成31年1月から工事を中止しております。

また、不測の埋設物の発覚など様々な課題により事業が停滞しております。

このような状況を踏まえ、道の駅整備事業に対する情報を市民の皆様と共有し、今後の方向性を検討するため、再検証を行います。

再検証では、概算事業費や管理運営に係る収支見込などを再算定しております。検証内容を公表し、市民の皆様のご意見なども拝聴したうえで、今後の方向性をお示ししてまいりたいと考えております。

以下、ご質問に対する回答です。

(1) 道の駅、広場事業それぞれの補助金等の見積りと、市の負担額について

道の駅整備に係る概算事業費は、施設の実施設計や護岸改修の修正設計を踏まえた事業費、追加工事に係る費用、さらに、これまでに実施してきた計画の策定、樹木伐採、各種調査・設計等既に支出した費用を含め、約25億6,100万円と試算しております。

市の実質負担額は、想定される交付金などを除き、約16億5,600万円と試算しております。

また、事業費を削減しつつも、牛久沼の活用を考慮した一つの例として、道の駅整備予定地に、市単独で広場を整備した場合の事業費を試算しております。その場合の概算事業費は、約11億1,400万円と算出しております。

市の実質負担額は、想定される交付金などを除き、約9億6,900万円と試算しております。

(現在公開中の資料にも掲載しております)

(2) 有識者で構成する「道の駅事業検証委員会」等を設置せず、アンケートと市民との意見交換会で、市長が実施するか中止するか決定する理由について

有識者による第三者委員会を設置し、検証を委ねるということも手段の一つであると認識しております。

道の駅整備におきましては、平成27年5月より庁内関係課における「道の駅設置推進検討会議」を設置し、道の駅整備に向けた基本的な考え方を整理した基本構想を策定しております。

この基本構想を基に、市内の農業・商業等の関係団体をはじめ、国土交通省や茨城県等の関係機関、有識者等で組織した「龍ヶ崎市道の駅基本計画策定検討会議」を設置し、協議を行っております。その協議に際しては、市民の皆様から広くご意見を伺うため、意見交換会などを開催しております。

こうした各段階での検討を重ねて、整備方針をはじめ、施設規模、管理運営体制などを明示した基本計画を策定し、事業を進めてきたところであります。

本市道の駅整備事業の再検証は、事業の状況等、必要な情報を整理し、市民の皆様にお示しさせていただき、ご意見を拝聴することも目的の一つであります。

従いまして、今回の再検証においては、第三者委員会による検証を行うということは考えておりません。まずは、市民の皆様への説明責任を果たすとともに、市民の皆様の声に耳を傾けることが肝要と考えております。その上で、社会情勢、中長期的な行政課題と財政見通し、様々な観点から熟慮し、市長の政治判断として道の駅整備事業の今後の方向性を示してまいります。